

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月31日

計画の名称	むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和03年度 (4年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	むつ市											
計画の目標	<p>全国的な人口減少・少子高齢化の進行や都市のスポンジ化の進行により、地域の活力の低下や自治体財政の縮小などが見込まれ、持続可能なまちづくりが急務となっている。</p> <p>このような中、医療、福祉、商業、教育、行政などの都市機能が集積している本地区において、都市再生特別措置法に基づく都市再生協議会や都市再生推進法人との連携や、公募設置管理制度（Park-PFI）の活用による民間事業者との連携など、官民連携を軸にした事業を展開し、魅力ある都市空間の整備を行うことで、都市機能の高度化及び居住環境の向上を図り、エリア価値の向上や賑わいと稼ぐ力の創出を目指す。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,738	A	3,738	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (R3末)
1	むつ地区居住誘導区域の人口密度37.6人/ha（H29）を維持 むつ地区居住誘導区域内の人口密度を算出する。 居住誘導区域人口/居住誘導区域面積817.7ha	37人/ha	人/ha	37人/ha
2	むつ地区居住誘導区域の宅地評価額9,019円/m2（H29）を維持 むつ地区居住誘導区域内の宅地評価額を算出する。	9019円/m2	円/m2	9019円/m2
3	Park-PFIの活用により民間の稼ぐ力1,200万円/年（R3）を創出 公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して設置する民間収益施設における収益を算出する。 指標値=売上高-経常的支出	0万円/年	万円/年	1200万円/年
4	Park-PFIの活用により公園維持管理費60万円/年（R3）を削減 公募設置管理制度（Park-PFI）の活用による公園維持管理費の削減額を算出する。 当初現況値は近隣公園の維持管理費から面積比により算出	60万円/年	万円/年	0万円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	大湊居住誘導地区都市再生整備計画事業	公園、地域生活基盤施設、高次都市施設 A=88ha	むつ市						3,633	-	
	A10-002	都市再生	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	田名部まちなか地区都市再生整備計画	公園、地域生活基盤施設 A=39ha	むつ市						6	-	
	都市構造再編集集中支援事業にR2年度より移行																		
												小計						3,639	
都市公園・緑地等事業	A12-003	公園	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(おおみなと臨海公園)	公募対象公園施設(便益施設等)、特定公園施設(広場等)	むつ市						89	-	
	A12-004	公園	一般	むつ市	直接	むつ市	-	-	官民連携型賑わい拠点創出事業(代官山公園)	公募対象公園施設(便益施設等)特定公園施設(便益施設等)	むつ市						10	-	
												小計						99	
											合計							3,738	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
むつ市都市整備部都市計画課により事後評価を実施	令和4年5月
	公表の方法
	むつ市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・むつ地区居住誘導区域の人口密度及び宅地評価額を維持するとした目標は達成できなかったが、官民連携を軸とした魅力ある都市空間の整備による都市機能の高度化及び居住環境の向上により、一定程度の効果は発現されたものと考えており、今後も引き続き効果の発現に期待したい。 ・2ヶ所の都市公園においてPark-PFIの活用が実現し、市の公園維持管理費が削減されたほか、民間の稼ぐ力が新たに創出されたことから、さらなる稼ぐ力の向上に期待したい。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・公園整備による公園機能の向上やPark-PFIの活用が実現したことにより、公園利用者が増加し、公園における新たな賑わいが創出された。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の持続可能かつ効率的な維持管理に努める。 ・Park-PFI事業者との連携を強化し、公園施設の活用を推進する。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	むつ地区居住誘導区域人口密度		
	最終目標値	37人/ha	全市的な人口減少が直接的な要因となり目標値を達成できなかったが、官民連携を軸とした魅力ある都市空間の整備による都市機能の高度化及び居住環境の向上により、ある程度の効果はあったと考えられる。
	最終実績値	36人/ha	
2	むつ地区居住誘導区域宅地評価額		
	最終目標値	9019円/m2	全市的な宅地評価額の下落が直接的な要因となり目標値を達成できなかったが、官民連携を軸とした魅力ある都市空間の整備による都市機能の高度化及び居住環境の向上により、ある程度の効果はあったと考えられる。
	最終実績値	8751円/m2	
3	Park-PFIの活用による民間収益		
	最終目標値	1200万円/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、おおみなと臨海公園Park-PFIの民間収益施設の規模が縮小されたため、目標値を達成できなかった。なお、計画変更により代官山公園においてPark-PFIの活用による民間収益施設の設置が実現したため、今後の稼ぐ力の創出に期待したい。
	最終実績値	172万円/年	
4	Park-PFIの活用による公園維持管理費		
	最終目標値	0万円/年	
	最終実績値	0万円/年	